

2017年
233号
10月18日(水)

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
(越労連内)
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

要望内容	高橋つとむ氏の回答要旨	あぜがみ順平氏の回答要旨
高齢者が安心して暮らせる街づくりをすすめてほしい	民生委員の活動を支援する。地域包括ケアセンターの役割を高める。地域全体で高齢者を支える仕組みづくりに努める。	医療・介護・市役所（保健所・保健センター）・市民の連携による越谷版地域包括ケアシステムの具体化を進める。
国保税の負担を軽減してほしい	法定外一般会計繰入については加入者に急激な負担増が生じないよう、配慮していく。国や県に対して更に財政支援を要望する。	現在の財政状況を分析したうえで、効率的かつ適切な財政運営が行われているか見直し、中期財政計画の策定を行い、公表していく。
市が管理する施設で飲食ができるようにしてほしい	昼食、夕食が必要な場合は飲食可能。子ども食堂など、飲食自体に意義がある事業は認める。判断が必要な場合は個別に協議する。	各施設の利便性の向上について、民間企業の経営的な視点を取り入れつつ、取り組む。
核兵器のない世界めざし、今後とも活動を続けてほしい	人類共通の願いである世界の恒久平和の実現をめざし、「越谷市平和都市宣言」の趣旨に基づき平和意識の醸成に努める。	市政運営に際しては平和を重んじ、民主主義のプロセスを大切にしていく。

年金引き下げ違憲訴訟第3次カンパのお願い

全組合員の力を総結集し、違憲訴訟を支えていきましょう！この裁判を支える運動が社会保障制度を発展させることにつながっています。**ひとり500円**をめどにカンパをお願いします。カンパ袋を配布物に入れてありますので11月20日までに役員にお渡しいただくと助かります。

越谷支部執行委員会

2017年10月
支部長 吉田健治

今年最大の大会で二人の執行委員が新たに誕生し書記局体制も強化しました。今仲間増やし月間が始まっています。今月2名の方々が組合に加入しました。しかし、執行委員会では確認した目標（8名）には届いていません。10月、11月で達成するには組合員一人一人の協力が求められています。高齢者の命と健康を守る、戦争をさせない。そのためにも年金者組合を大きくする活動が必要です。友人、知人に呼びかけてください。一年金者組合に加入しましょう。

点晴
今さらながら選挙に行こう

この「ねんきん越谷」が届くころには10月22日の衆議院議員選挙は終わっているかも知れませんが、続く10月29日には越谷市長選挙があります。投票率が気になります。高い時でも50%後半、年代別の分析では若い世代では50%を割ることも珍しくありません。

国会議員の選挙、市議会議員の選挙、首長の選挙など種類の違いや県別、地域別などの区分の違いなどはあるけれど、全般的な傾向は似ているような数字です。当然のことながら選挙で当選した人が選挙人、つまり国民や市民の代表者として多くの権限を行使できることとなります。どのような人からどのくらい税金を集めるか、私たちで言えば年金からいくらかの税金を集めるか、税金の集め方を決める権限を持ちます。

またみんなが苦労して納めた税金を何に使うかも決める権限、予算を決める権限を当選者に引き渡すわけです。

そんなことは当然わかっていて、こと、釈迦に説法かも知れませんが、あえて言わせてもらえば、有権者の半数程度の人たちの内、当選者に投票した人たちだけ、つまり国民、市民のほんの一部の人達だけの意見で物事が進められます。

もちろん当選した人に何でもやって良いと白紙委任したわけではないけれど、形の上で多数決で強行採決する横暴も起こりえます。

そんな政治を審判するのが選挙、有権者の意見を集約する民主主義の基本。民主主義の破壊行為ともいえると思います。選挙権のない孫世代の将来のためにもみんなが棄権することなく選挙に行きましょう。（樋口）